

会議録

会議の名称	令和3年度 第1回加西市総合政策審議会
開催日時	令和3年6月14日（月）午後2時00分～3時40分
開催場所	加西市役所 5階大会議室
<p>議長の氏名（会長 杉山 武志）</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>＜出席委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田尾 真 ・大野 聖佳 ・久米澤 稔 ・後藤 直樹 ・後藤 政博 ・菅原 知美 ・杉山 武志 ・鈴木 忠樹 ・高木 雄太 ・高見 千里 ・谷勝 公代 ・辻田 聡信 ・濱本 泰秀 ・山下 光昭 <p>＜欠席委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野 重美 	
<p>傍聴者の人数</p> <p>一般：なし 報道機関：なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創造部長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 後藤 伸嘉 ・ふるさと創造部人口増政策課係長 岩野 裕之 ・ふるさと創造部人口増政策課主任 千種 健史 ・ふるさと創造課人口増政策課主任 垣谷 直宏 ・ふるさと創造部人口増政策課主事 牛尾 充宏 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり推進員 小山 映 	
<p>1 議事</p> <p>(1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方</p> <p>(2) 第6次加西市総合計画の策定経過</p> <p>(3) 実施計画（令和2年度実績）における評価・検証について</p> <p>2 その他</p> <p>加西市地域創生戦略の状況報告について（令和2年度）</p> <p>3 会議資料</p> <p>資料1～4、参考資料</p> <p>別紙「加西市地域創生戦略の状況報告について」</p> <p>4 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第1回加西市総合政策審議会の経過」のとおり</p>	

(別紙) 第1回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
ふるさと創造部長	<p>1 開会 <加西市ふるさと創造部長あいさつ> ・コロナ情勢も落ち着きを見せつつも見通しが定かでない状況の中お集まりいただき感謝申し上げます。 ・昨年度は第6次総合計画の策定に当たり様々ご議論をいただき、12月の答申をもって3月議会に上程し、原案通り可決された。この新計画を市民とも共有すべく5月24日に市民会館で市民報告会を開催した。市長の意向もあり、対話型の報告会とし、事前質問の回答もその場で説明し理解を深めていただくことができた。 ・今年度以降は新計画を推進していくということになるが、答申の際にはしっかりとしたPDCAサイクルをもって評価検証をしてもらいたいとこの審議会からもいただいたので、今回からはその作業にあたっていただくということになる。 ・長時間にならないようこの会を進めていきたいと思うのでご協力をよろしく願います。</p>
副会長 事務局 会長	<p>2 委員の紹介</p> <p>3 議事 (1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方（事務局から説明） ・審議会の委員会構成について、「老若男女」ではないのか。 ・「若女」である。「若」は若い人で、若者と女性の意である。 ・委員メンバーが代表となっている団体や業界の頭文字を取って並べているだけと解される。</p>
	<p>(2) 第6次加西市総合計画の策定経過（事務局から説明） 【質問・意見なし】</p>
委員	<p>(3) 実施計画（令和2年度実績）における評価・検証について（事務局から説明） ・市民会館が耐震化工事をして昨年10月から供用開始とあるが、老人クラブの関係では今年9月に芸能祭りがあり、福祉会館がコロナワクチン接種会場のため使用できない。福祉会館では、玄関までバスが来て車イスで入れるが、代替会場となる市民会館では駐車場から県道を渡り市民会館に行かなければならないため非常に利便性が悪い。 ・2階の南側に大型バスが入れるよう要望を出し、今年度825万円の予算がついたが、工事完了は9月で間に合わない。工事をするのは建設の部局と言うがその辺りの担当課との連携はどうなっているのか。職員が減らされていて難しいのだろうと思うが、耐震工事をするなら、また大きなお金を使うなら合わせて付加価値をつけて市民会館を利用できるような発想には至らなかったのか。</p>
事務局 委員	<p>・担当課に伝え、いただいた意見を共有するようにする。 ・市民会館にバスが入れるようにすれば障害者でも高齢者でも車イスで館内に入れるようになる。計画を立てる際には、こうした会議で意見を出し合って良いものができるのであろうが、いろいろな角度から見て事業は進めるべきである。</p>
副会長	<p>・評価検証だが196枚の個票があり、1日で30事業の評価をしなければならない。2時間では読むだけで終わってしまいそうなのでよく考えてもらいたい。 ・取組結果に関しては、良いことしか書かれていない。評価検証のところでは良いところは良いで放っておいて、PDCAをまわすためにも問題点を際立たせて民間の知恵を借りることが本来の趣旨である。 ・評価のところではAとCがあればBにするとか、パーセンテージも200%と40%で平均して70%にするというのは無茶苦茶で、我々の世界では母数がほぼ同じで重要性も同じであれば足して割ったとしても良いが、施策自体がどのようなウエイトで重要な施策なのかによって全然違ってくる。重要な方が200%であるならうれしい話だが。本来の施策が40%なのに付け足して行った施策が倍ほどだとして結果70%と言われても困ってしまう。今回の検証については、前計画に係るものであり、既に完了した話なのでサッとイケば良いと思うが、この中で行政側として特に問題意識をもっている部分をピックアップして部会で議論してみてもどうか。196事業すべてを評価してもきりが無いので工夫してもらいたい。</p>
会長	<p>・大変は大変だが、どこが良くてどこが悪かったのかが一目でわかるというのが理想だと思う。</p>

副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2時間は短いのではないか。3時間くらいにしておいて、2時間で終われば流れ解散にすればいいと思うが、2時間では絶対終わらない。 ・ 今いただいた意見に関しては、次年度いろいろな評価の仕方を検討していく段階での議論に入ってくると思われる。 ・ 評価シートが196枚あり多いというのは以前から言われていたことなので、次期計画については196を120弱まで減らしている。今年度は今までの流れもあるのでこのままとさせていただきます。次年度からは解消していく予定である。 ・ 人づくりに関しては、計画して事業を発信するというのは市の立場として良いと思うが、それを受ける地域の住民はどう考えているか。今の地域は疲弊してきている。特にコロナですべてが中止になり、それが1年、2年と続いている。組織は事業がなければ無いようなものである。老人クラブではどうすればできるかということを考えながら事業を実施しているが、中身に満足できないとおっしゃる方もいる。 ・ 組織から見れば事業はやらなければならない。そのために市からは大会だと50%まで良いと言われるのは非常にありがたい。何もかも駄目だと言われたら市民は何もできない。国や県の指標に基づいて市はガイドラインを出してくれているので、それに基づいて我々は判断していくという姿勢である。今後も市はしっかりと指針を出してもらえるとやりやすい。 ・ あらゆる組織が何もしていない。どんなにいい計画を立てても今のままだと動かす地域がバラバラになっている。10年後どうなるのかと不安に思っている。女性が元気でないといけないが、計画の取組にもあったが女性のリーダーを育成していかないといけない。 ・ 今年度、女性の活躍ということで男女共同参画推進計画を見直すとともに女性リーダーを作っていくと手始めにいろいろなセミナーを開いて女性が活躍できる土台作りから始めているところである。 ・ 総合計画評価一覧表の「今後の方針」で②の継続と書いてあるが、個票として継続するのか政策をやめないという継続なのか区別はできるのか。 ・ 個票としてやめないのではなく、後者の取組としてやめないとの意味である。 ・ 個票として残るものにしてしをつけてもらいたい。それを重点的に見た方が次の話にも繋がる。 ・ 検討させていただきたい。 ・ ②でもマーカーの引いてあるものは次の個票に引き継いであるとか。 ・ 質問の個票に引き継ぐというのは、次の計画では体系が変わっているが、KPIが継続されているということか、それとも取組内容がそのまま継続されているということか。 ・ 来年の評価に出てきた状態として、190から120程度になっているわけで、新計画では新しいものも当然増えているから前計画から継続しているものはそんなに多くないと思っている。 ・ 統合したものを削除したものもある。 ・ 少なくとも今から評価を行うにあたり、来年のことを見据えて行った方がいいだろうという話である。見るのであれば、引き継がれるものを見ていった方が来年にはほとんど残っていないものを読んで評価しても時間の無駄である。 ・ 個票の下に次期総計への対応箇所を書いているが。 ・ それを一覧表で見せてもらわないと全部見ないとわからない。 ・ 一覧表というのは。 ・ ぱっと見たときに引き継いだか引き継いでいないか、部会長としてこれを見ましょうというふうにしないと、個票は時間的に全部見られないと思っている。 ・ 次期計画にどのように繋がっていくかわかる資料を作るようにする。 ・ 一覧表を仮に作るとしてスケジュールとしてあまり時間はないか。 ・ 別々になるかもしれない。個票を先にお送りして、追って一覧表をお送りする。 ・ 送付された一覧表を見ていくようにしましょう。 ・ 引き継いで次の政策の本流に残っているものなのか、政策としては残っているけど個別検証するレベルのところには残っていないというものなのかどっちなのか。ほとんどが②で残ると思われるが。 ・ 個票で完全に1対1で残るパターンもあるが、2つ3つまとめて1つの個票に統合されるものが多く、それとごく限られたものになるが廃止されるものに分けられる。 ・ どのやり方がベストなのかを相談いただいて7月の総合政策会議に臨んでいただければ。 <p>部会について（事務局から提案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度と同じ部会分けとし、新規の委員については、各前任者の部会にスライドする方向でお願いしたい。
会長	
事務局	
委員	
事務局	
副会長	
事務局	
副会長	
事務局	
副会長	
事務局	
副会長	
事務局	
副会長	
事務局	
会長	
事務局	
会長	
事務局	
事務局	

<p>会長 事務局 会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・また、各部会長は、部会①は昨年度から引き続き谷勝委員、部会②についても昨年度から引き続き濱本副会長、部会③は新任の委員が多いが山下委員ということでお願いする。 <p>4 その他 加西市地域創生戦略の状況報告について（事務局から説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事に入れなくていいか。 ・総合政策審議会の役割ではないため、報告という形でご意見を賜りたい。 ・令和7年度が最終年度になるがどういった評価検証となるのか。 ・総合計画の前期計画が令和7年度まで、地域創生戦略も令和7年度までということで両方の見直しが令和7年度の時点で迎えるということになる。前回の総合政策審議会の中での作業と同様に5年間の評価検証と次の見直しというところで皆様のお力添えをいただきたい。
<p>会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新計画の前年度に当たる年は、会議の回数が多いということになるのか。 ・令和2年度は7回程度させていただいたのでそれと同じくらいになる。
<p>会長 副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※注）見直しの年度は、最終年度である令和7年度となる見込み。 ・会議回数を今から想定しておいた方がよい。7回では足りないのでは。 ・戦略を先にやった方がいい。 ・計画ができたばかりだが、次の見直しに向けたスケジュールを考えていきたい。
<p>副会長</p>	<p>5 閉会 <副会長あいさつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はプロローグで次回からが本番である。 ・送付される資料をしっかりと読んで次回説明を聞いてもらいたい。行政文書は難しく理解しづらいが事前に読み込んで次回に備えていただきたい。 ・今日は発言が少なかったが、この場は皆様が発言する場であり、その意見を行政は聞きたがっている。遠慮なく意見を出していただければと思う。